

議 事 録 (要旨)

配布先		主催 企画課			No.	
議事録名 第3回 佐久市行政改革推進委員会 作成日 令和6年9月12日		事務局				記録者
		部長	課長	係長	係	
日 時	令和6年8月27日(火)	開催場所	佐久市役所 南棟3階 大会議室		時 間	13:30 ～ 15:40
出席者	<p>委 員： 島田千穂、鈴木祥子、鷹野勝、伊藤明弘、星野仁、春日利夫、竹重知幸、小池竜昇、宮森伊智朗、柳澤祥子、渡辺三恵、井出礼子、植本和子、佐藤恵</p> <p>所管課： 9「自主防災組織防災資機材整備等事業補助金」 危機管理課長 金井 靖、危機管理係長 佐藤 顕士</p> <p>10「健康診査補助金」 健康づくり推進課長 工藤 清美、健診推進係長 小林 いづみ</p> <p>11「身体障害者福祉協会運営費補助金」 12「手をつなぐ育成会補助金」 福祉課長 関口 直司、障害福祉係長 浅川 愛</p> <p>13「佐久市敬老会補助金」 高齢者福祉課長 渡辺 孝治、高齢者事業係長 寺尾 孝弘</p> <p>14「自転車用ヘルメット購入費補助金」 生活環境課専門幹 関 康洋、生活公共交通係長 畠山 武尚</p> <p>15「土地改良事業推進補助金」 耕地林務課長 平林 拓也、農村整備係長 山越 雅文</p> <p>事務局： 企画課長 木内孝昭、行政改革係長 佐藤俊 行政改革係 内藤匡翁、油井宏和</p>				委員 出 14人 欠 1人	
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1-1 第2・3回行政改革推進委員会における外部評価の手順について ・ 資料1-2 令和6年度 補助金等外部評価 意見に対する回答説明スケジュール ・ 資料2 外部評価対象補助金等への意見に対する回答 					

《開会》

《会議事項》

令和6年度補助金等外部評価について（資料1-1、1-2）

【評価方法等について事務局から説明】

【委員からの意見等は特になし】

ア 委員からの意見等に対する回答について（資料2）

【9「自主防災組織防災資機材整備等事業補助金」】（危機管理課）

委員 大沢地区では、令和元年度台風の際、緊急避難場所として、大沢社会体育館を開けたが、支援物資の搬送が遅れてしまったことから、事前に準備しておこうという話になり、自主防災組織として、大沢地区の各区が連携して動いている。市に報告が必要なことは知らなかったもので、のちほど相談させていただきたい。

佐藤係長 他自治体では、各区の自主防災組織と複数の区でまとめた形での自主防災組織が、双方存在する事例等もありますが、この場合は、申請が重複する恐れがあるため、あとからできたもののみを補助対象としています。個別の手続き等については、後ほど対応させていただきたい。

委員 都道府県別の人口10万人当たりの防災士の登録者数は、愛媛県が全国1位で1,484名となっています。長野県は30位で210名となっており、人口が約10万人の佐久市は79名であることから、非常に少ないと感じます。今まで災害が少なかったため、意識が低いことも考えられますが、防災士を普及させ、意識を高める必要があると思います。こうした中で、補助金の支給を個人とした場合、防災士が増加すると思うのですが、個人支給のデメリットは、どのようなことが考えられでしょうか。

佐藤係長 防災士については、区とのつながりを重視しておりますので、区の中で、顔が分かり区と連携して活動していく事を想定しております。なお、他自治体において、個人支給としているケースでは、自主防災組織に対する補助ではなく、別途、要綱を定めております。

委員 79名の市内の防災士のうち、25名は市の職員とのことですが、こうした方も区の組織の中に組み込まれているという理解でよろしいでしょうか。

佐藤係長 職員につきましては、区を通して申請しているケースと、職務に必要なため公費により資格を取得しているケースがあり、こうした取組みも含めて、防災士を増加させていこうとしています。

【その他、委員からの意見等は特になし】

【10「健康診査補助金」】（健康づくり推進課）

委員 人間ドックについては、影響はないのでしょうか。

工藤課長 人間ドックについては、別の補助制度があるため、影響はありません。

委員 現在、この補助制度を利用している方は、補助がもらえないとどうなるのでしょうか。

工藤課長 今まで受けていた会員向けの健診を市の補助無く受診することもできますが、医療制度が変わる中で、各保険者の責任において健診体制を整えておりますので、市（保険者）が実施する健診を勧奨していきたいと考えております。

委員 補助対象は、特定の団体に限るものでしょうか。

工藤課長 この補助金はだれでも使えますが、特定健診については、保険者のサービスとして有利に受診できるため、結果的に特定の団体への支出となっております。

【その他、委員からの意見等は特になし】

【11「身体障害者福祉協会運営費補助金」】（福祉課）

委員 繰越金についての説明をもう一度お願いしたい。

浅川係長 令和3年度に自動販売機を設置し、自主財源を増加させ補助額を減少した経過がございます。引き続き、自主財源の確保等により、見直しを進めていきたいと考えております。

委員 コロナ禍で繰越金が増加した団体が数多くあったが、身体障害者協会については、そういった影響はなかったのでしょうか？

浅川係長 講演会やスポーツ大会といった行事ができなかったこともあり、少なからず影響はあったと思います。

委員 この要綱にあるような団体は、他にも数多くあるので、新たな団体への補助を検討して欲しいと思う。古くからある団体だけでなく、サポートをしていただきたい。

関口課長 今後、そういったことについても検討していきたいと思っております。

委員 こうした社会福祉団体への補助は、上部団体へ上納するためのものなのでしょうか。もし、そういった団体に支出しているのであれば、そういった主旨を規定してはどうでしょうか。

関口課長 本補助金は、あくまでも団体の活動に対して支出するものですが、結果として、そのようなケースもあります。

【その他、委員からの意見等は特になし】

【12「手をつなぐ育成会補助金」】（福祉課）

委員 要綱では、他の団体に対しても支出しているが、そういったものの見直しは行っていますか。

浅川係長 昨年度は、保護司会について実施していますし、他の団体につきましても、随時外部

評価を実施しています。

【その他、委員からの意見等は特になし】

【13 「佐久市敬老会補助金」】（高齢者福祉課）

委員 敬老会を実施している区は少なく、この補助金で、油や砂糖などを配っている区もある。また、社協で行っている赤い羽根共同募金の4割程度が、敬老会補助金（社協）の原資となっており、他の福祉事業に使用した方が良いという思いもある。区によっては、敬老会を楽しみにしていて、温度差があると思うが、市としての考えがあればお聞きしたい。

渡辺課長 それぞれの区等の考えに基づいて実施していただいております。高齢者の生きがいに寄与しているといったこともありますので、終期を定めて、定期的に見直しを図るような仕組みを構築し、見直しを図っていききたい。

委員 赤い羽根共同募金といった、原資の主旨についてもご理解いただき、見直しを進めていただきたい。

委員 70歳以上という区切りがあるが、75歳以上へ見直すことも必要ではないでしょうか。区によって違うのも良くないため、全体として、方針を示していただきたいと思います。

【その他、委員からの意見等は特になし】

【14 「自転車用ヘルメット購入費補助金」】（生活環境課）

【委員からの意見等は特になし】

【15 「土地改良事業推進補助金」】（耕地林務課）

委員 交付基準に適合していないとのことですが、なぜこのようなことが起こってしまうのでしょうか。

山越係長 補助金等交付基準が整備されたのが平成21年となり、この補助金は、それよりも前に設置されたものであるため、交付が続いております。

【その他、委員からの意見等は特になし】

【自主防災組織防災資機材整備等事業補助金】 現行どおり

【健康診査補助金】 廃止

【身体障害者福祉協会運営費補助金】 現行どおり

【手をつなぐ育成会補助金】 現行どおり

【佐久市敬老会補助金】 現行どおり

【自転車用ヘルメット購入費補助金】 現行どおり

【土地改良事業推進補助金】 廃止

上記のとおり、委員会の評価として決定。

《その他》

【事務局から、今後の予定について説明】

【委員からの意見等は特になし】

《閉会》